

仏教・宗教

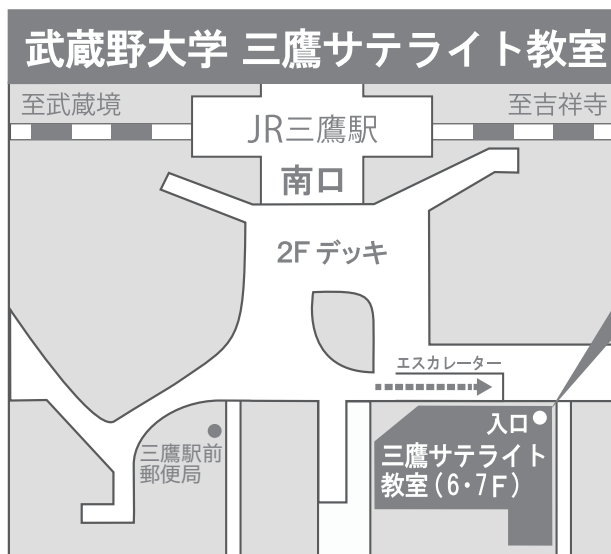
三鷹

0201004

親鸞聖人の教え 『一念多念文意』に学ぶ 第三期

受講料 (振込額)	10,000円				
必携テキスト	――				
講座概要	曜日	水曜日		日程	
	時間	10:00～12:00		4月8日	
	回数	全5回	定員	50名	5月13日
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室		6月10日	
				7月8日	
				9月9日	
講師	万行寺住職 本多 静芳 (ほんだ しずよし)				
	<p>1957年東京生まれ。慶應義塾大学文学部哲学科卒。東洋大学大学院修了。元武蔵野大学助教授。元東洋大学非常勤講師</p> <p>大乘仏教、特に浄土教の大乘菩薩道の社会性を研究領域とする。</p> <p>主な著書に『改訂新版「歎異抄」を読む』『歎異抄に学ぶ大乘仏教入門』『いのち見えるとき』『心を豊かにする』62のヒント』『信心の日暮らし～仏教のある社会生活』『親鸞入門』(共著)『戦争と追悼』(共著)『真宗における救いとは』(共著)『みんなの法話1』(共著)他。</p> <p>浄土真宗万行寺住職、東京仏教学院講師、アユス仏教国際協力ネットワーク理事、念仏者九条の会・東京代表。</p>				
内容	『一念多念文意』は、親鸞聖人の和語の書物です。『教行信証』など、漢語の素養のある人を対象に考えて書かれた書物に対して、『和讃』など和語で書かれた書物は、専門的に仏教を学んだことのない「いなかのひとびと」のために書かれたものです。親鸞聖人のまわりには、念仏の救い、つまり、お互いを尊び合い、まことの生き方を成就するのに、念仏はたくさん称えることが大切か、それとも、念仏は一回でよいのか、という論争がありました。こうした論争は一体が問題になっているのか、やさしく、また、現代の私たちの課題を通して学んでいきます。				
	<p>※こちらの講座は、大学の記録用としてビデオの収録をさせていただきます。</p> <p>講師を中心に教室の後方から撮影をし、個人が特定できないように配慮いたしますので、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。</p>				
	<p>① 4月8日：仏の名号を聞いて救われる</p> <p>② 5月13日：仏に成るべき身に成る～正定聚不退転とは</p> <p>③ 6月10日：多念を間違いだと批判してはいけない(後半)</p> <p>④ 7月8日：『阿弥陀経』～一日乃至七日、名号を称うべし</p> <p>⑤ 9月9日：諸仏が人々に名を称えさせる願い～第十七願</p>				

武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013

東京都三鷹市下連雀3丁目26-12
三鷹三菱ビルディング

JR中央線・総武線
東京メトロ東西線
JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 6・7F
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・ 前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります。
- ・ 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・ 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・ 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。